

授業者	塚越 文子	日時・指導学級	10月30日(火) 6時間目 1年3組
教科	音楽	題材	混声三部合唱曲「地球星歌～笑顔のために～」

【授業の目標】

- ・曲中に3回出てくるサビの歌い方の工夫について、自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりすることを通して、歌詞や強弱表現のイメージを広げることができる。
- ・3回のサビの歌い方に関して、歌詞の内容やイメージを生かした表現の工夫をすることができる。

【授業の工夫】

- ・歌詞のイメージや表現の幅が広がるように、グループや全体の場で考えを伝え合う場面を設ける。
- ・考えを伝え合う時、自分の考えを書いたワークシートをグループ内で回し読みする。その時に、共感した考えにラインを引いたり、なぜそう感じたのかを質問したりするようにする。

【授業の様子・生徒の変容】

- ・グループ活動の場面では、意見交換の際に共感した考えにラインを引くことで、視覚的効果もあり、自分の考えが伝わった自己有用感が得られた様子が見られた。
- ・漠然としていた個々のイメージが、友達の考えに触れることでより具体的なものになり、最後に体で（歌って）表現することで、イメージを共有することができた。
- ・イメージを歌の表現につなげる場面では、表情や息の吸い方、大切な言葉を強調する様子から、自分たちの想いを聴き手に伝えようとする、表現することへの意識の高まりが感じられた。

【教師の振り返り】

- ・生徒から出された意見に対して、教師の切り返しなどの手立てによって、学びがつながる場面はあったが、生徒同士でつなげる難しさを感じた。
- ・考えを伝え合い、イメージを共有する場面に時間をかけすぎ、歌って試す時間が短くなってしまった。イメージの言語化から歌って表現への流れを、もう少しこまめに取り入れていきたい。



グループで、友達の思いが書かれたプリントをじっくり読む姿や、なぜこう考えたのかを質問をする姿が見られた。

意見交換や作曲者の思いに触れ、どう歌うとよいかを考えることを通して、曲のイメージがより広がり、思いをもって表現しようとする姿につながった。